

事業事前評価表

国際協力機構アフリカ部アフリカ第二課

1. 基本情報

- (1) 国名: タンザニア連合共和国
- (2) プロジェクトサイト／対象地域名: タンザニア本土 6 州(アルーシャ州、ドドマ州、キゴマ州、ルヴマ州、ムワンザ州、プワニ州)とザンジバルのウングジャ島
- (3) 案件名: 母子保健サービス強化のための医療機材整備計画(The Project for the Improvement of Medical Equipment for Enhancing Maternal and Child Health Care Services)

G/A 締結日: 2025 年 3 月 14 日

2. 事業の背景と必要性

- (1) 当該国における保健セクターの開発の現状・課題及び本事業の位置付け
タンザニア連合共和国(以下、「当国」という。)政府の第 3 次 5 カ年開発計画(Five Year Development Plan III)(2021/22 年～2026/27 年)及び保健セクター戦略計画(Health Sector Strategic Plan V、以下「HSSP V」という。)(2021～2026 年)において、リプロダクティブヘルス及び母子・新生児・思春期保健は優先課題として位置づけられている。

当国では、乳児死亡率及び 5 歳未満児死亡率とともに、妊産婦死亡率は改善がみられている(2000 年 760 から 2020 年 238(対出生 10 万人)、世界銀行)。一方で、施設、機材、リファラル体制等のハード、ソフト面はいずれも依然脆弱であり、妊産婦検診、出産及び妊娠・出産時合併症発生においても適切な検査や治療を適時に提供できないという課題がある。これを受け本土保健省及びザンジバル保健省は、州レベルの母子保健サービス体制強化を目的とし、第二次医療施設である地域中核病院(Regional Referral Hospital、以下「RRH」という。)及び地域病院の医療設備の整備拡充及び患者ケア強化の計画を立てている。

かかる状況下、「母子保健サービス強化のための医療機材整備計画」(以下、「本事業」)は、タンザニア本土の 6 つの RRH 及びザンジバル・ウングジャ島の 1 つの地域病院に対し母子保健サービスの改善に必要な医療機材整備を実施することにより、当国の州レベルでの母子保健分野の診断・検査・治療体制を強化し、医療サービスへのアクセス向上を図るものである。

- (2) 保健セクターに対する我が国及び JICA の協力方針等と本事業の位置付け

対タンザニア連合共和国国別開発協力方針(2017 年 9 月)及び JICA 国別分析ペーパー(2018 年 3 月)において、保健医療サービスを含む「ガバナンス・行政サービスの向上」を重点分野と位置付けており、本事業はこれら方針に合致する。また、第 8 回アフリカ開発会議(TICAD8)及び G7 において我が国が表明した取組では、妊産婦、新生児及び乳幼児の死亡率を低減し UHC 達成に貢献することが掲げられており、本事業は同取組に資するものであることに加えて、SDGs ゴール 3(健康な生活の確保、万人の福祉の促進)の達成に貢献する。また、本事業は JICA 課題別事業戦略(グローバル・アジェンダ)「保健医療」における「中核病院診断・治療強化クラスター」及び「母子手帳活用を含む質の高い母子継続ケア強化クラスター」が目指す取組に合致している。

- (3) 他の援助機関の対応

国連プロジェクトサービス機関 (UNOPS)、国連人口基金 (UNFPA) 等の国連機関や、Korea Foundation for International Healthcare (KOFIH)、Clinton Health Access Initiative (CHAI)、ま

た当国にて活動する複数のドナー拠出による Health Basket Fund から県レベル以下の病院に対し医療機材が支援されている。加えて国連児童基金 (UNICEF) も県レベル以下の病院に対する支援を中心的に行っている他、世界保健機関 (WHO) は母子分野の医療サービス及びシステムの質改善の技術支援を行っている。

3. 事業概要

(1) 事業概要

① 事業の目的

本事業は、タンザニア本土の 6 つの RRH 及びザンジバル・ウングジャ島の 1 つの地域病院、計 7 病院に対して母子保健に関する医療機材を整備することにより、州レベルでの診断・検査・治療体制の強化を図り、もって母子保健サービスの改善に寄与するもの。

② 事業内容

ア) 施設、機材等の内容

【機材】移動式超音波診断装置、麻酔器、持続陽圧呼吸療法用装置、分娩台、移動式デジタル X 線撮影装置、高圧蒸気滅菌器、保育器、等

イ) コンサルティング・サービス/ソフトコンポーネントの内容: 詳細設計、入札補助、調達監理、機材の適切な運用及び維持管理のための技術指導。

ウ) 調達・施工方法: 機材は基本的に本邦調達とし、日本製品に限定することで品質及び入札の競争性が保てない場合には、第三国調達を想定。

③ 本事業の受益者(ターゲットグループ)

直接受益者: 対象病院の母子保健サービス利用者

最終受益者: 対象病院が管轄する 7 地域の住民(人口約 1,639 万人)

(2) 総事業費

総事業費 1,531 百万円(概算協力額(日本側): 1,527 百万円、タンザニア連合共和国側: 4 百万円)

(3) 事業実施スケジュール(協力期間)

2025 年 1 月～2030 年 1 月を予定(計 61 か月)。機材供用開始時(2026 年 12 月)をもって事業完成とする。

(4) 事業実施体制

1) 事業実施機関: 本土保健省 (Ministry of Health (Mainland))

2) 運営・維持管理体制: 各病院には機器管理のためのバイオメディカルエンジニア部門(BME)が設置されており、BME 学位を持ったエンジニアや BME ディプロマを持ったテクニシャンが 4 名ほど配置されている他、定期保守、修理保守、ユーザトレーニング、スペアパーツ・消耗品調達計画等、一定の医療機材管理関連活動が実施されているため、体制面・技術面において問題ない。一部の医療機材については、メーカーによる製品無償保証期間を含めて、最大 3 年間の保守契約を付帯する。また、財務面においてはいずれの病院も医療機材の維持管理費用を毎年確保している他、本事業の実施に際し、当国政府が適切な維持管理予算を確保することを合意済みであるため、問題ない。

(5) 他事業、他援助機関等との連携・役割分担

技術協力「母子保健サービスの質向上プロジェクト」(2022～2027 年度)では、対象病院にお

ける母子保健サービス提供体制強化と保健人材の能力の改善を図ることにより、母子保健サービスの提供能力の向上を目指している。本事業において機材整備を行うRRH及び地域病院は上記プロジェクトの対象と重なることから、相乗効果を図る。また、個別専門家「5S-KAIZEN-TQMを通じた保健医療サービスの質向上のアフリカ地域広域展開促進」(2023～2025 年度)では、対象国間の 5S-KAIZEN-TQM にかかる知見・経験の共有を通じた病院運営管理能力の向上を目指していることから、本事業を補完するものとなる。

(6)環境社会配慮

① カテゴリー分類:C

② カテゴリー分類の根拠:本事業は、「国際協力機構環境社会配慮ガイドライン」(2022 年 1 月公布)上、環境への望ましくない影響は最小限であると判断されるため。

(7)横断的事項

キゴマ州はコンゴ民主共和国やブルンジ等からの難民受入地域であり、協力対象となる同州RRH には難民も含めて約 240 万人に医療サービスを提供している。診療費の負担等により難民支援を実施している他ドナーとも現場レベルで情報共有しつつ、タンザニア政府の難民受入政策も踏まえ、難民を包摂した裨益となるよう留意する。

(8)ジェンダー分類:GI(P)(女性を主な裨益対象とする案件)

＜活動内容/分類理由＞医療施設の機材等が不十分なため、母子保健サービス利用者が適時適切な検査や治療が受けられないという課題に対し、母子保健の検査・診断にかかる医療機材を整備し課題解決を図るため。指標には、母子保健サービスの利用者数や出生前合併症の診察件数等を設定している。

(9)その他特記事項

特になし

4. 事業効果

(1)定量的効果

1)アウトカム(運用・効果指標)

指標名	基準値 (2023 年実績値)	目標値(2029 年) 【事業完成 3 年後】
対象病院の利用者数(人／年)	ドドマ RRH:286,602 人／年 トウンビ RRH:118,292 人／年 マウントメルーRRH:337,895 人／年 セコウトウーレ RRH:182,257 人／年 ソングア RRH:123,546 人／年 マウェニ RRH:96,205 人／年 ルムンバ地域病院:-	ドドマ RRH:329,592 人／年 トウンビ RRH:136,036 人／年 マウントメルーRRH:388,579 人／年 セコウトウーレ RRH:209,596 人／年 ソングア RRH:142,078 人／年 マウェニ RRH:110,636 人／年 ルムンバ地域病院:140,000 人／年

対象病院における母子保健サービスの利用者数(産科入院者数・5歳未満入院者数)(人/年)	ドドマ RRH:12,857 人/年 トゥンビ RRH:4,305 人/年 マウントメルーRRH:6,122 人/年 セコウトウーレ RRH:10,308 人/年 ソングア RRH:5,596 人/年 マウェニ RRH:3,164 人/年 ルムンバ地域病院:-	ドドマ RRH:14,786 人/年 トゥンビ RRH:4,951 人/年 マウントメルーRRH:7,040 人/年 セコウトウーレ RRH:11,854 人/年 ソングア RRH:6,435 人/年 マウェニ RRH:3,639 人/年 ルムンバ地域病院:11,620 人/年
新生児の移動式 X 線画像検査件数(件/年)	0	ドドマ RRH:240 件/年 トゥンビ RRH:144 件/年 マウントメルーRRH:192 件/年 ルムンバ地域病院:96 件/年
移動式超音波診断装置検査件数(件/年)	0	ドドマ RRH:14,500 件/年 トゥンビ RRH:4,200 件/年 マウントメルーRRH:12,600 件/年 セコウトウーレ RRH:18,000 件/年 ソングア RRH:10,800 件/年 マウェニ RRH:21,600 件/年 ルムンバ地域病院:5,400 件/年
移動式超音波診断装置を用いた、出産前合併症(前置胎盤、羊水過多症、羊水過少症、子宮内胎児発育遅延)の診察件数(件/年)	0	ドドマ RRH:860 件/年 トゥンビ RRH:220 件/年 マウントメルーRRH:740 件/年 セコウトウーレ RRH:670 件/年 ソングア RRH:340 件/年 マウェニ RRH:140 件/年 ルムンバ地域病院:520 件/年

(2) 定性的効果

- ① 対象病院のリファラル病院としての機能の向上により、地域におけるリプロダクティブヘルスの状況が改善される。
- ② 対象病院のリファラル病院としての機能の向上により、病院スタッフの臨床能力が向上する。
- ③ 医療サービスの質が向上する。

5. 前提条件・外部条件

- (1) 前提条件: 対象病院に必要な人員が確保される。
- (2) 外部条件: 特になし。

6. 過去の類似案件の教訓と本事業への適用

ウガンダ共和国「中央ウガンダ医療施設改善計画」(評価年度2015年)の事後評価等では、医療

機材選定の際、対象病院医師の使用経験のある機材に限定した。その中でも、使用経験の少ない機材に対して研修、指導を実施した結果、整備機材の有効活用及び適切な維持管理につながっていることが確認された。本事業でも、病院側の臨床技術レベルや維持管理体制の現状を踏まえ、整備機材の内容やソフトコンポーネントについて検討した。

7. 評価結果

本事業は、当国の開発課題・開発政策並びに我が国及び JICA の協力方針等に合致し医療機材の整備を通じて母子保健サービスの改善に資するものであり、SDGs ゴール 3（健康な生活の確保、万人の福祉の促進）の達成に貢献することから、事業の実施を支援する必要性は高い。

8. 今後の評価計画

(1) 今後の評価に用いる指標

4. のとおり。

(2) 今後の評価スケジュール

事業完成 3 年後 事後評価

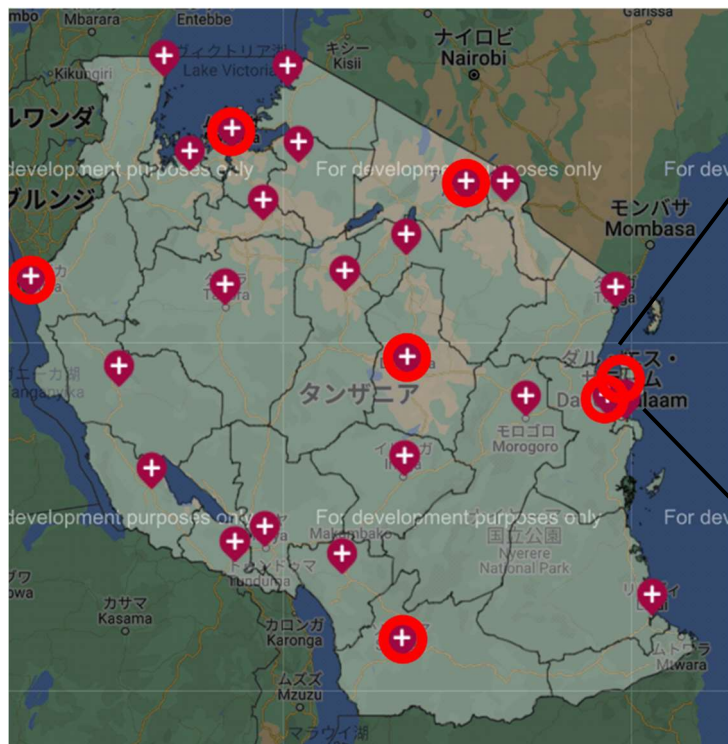
以 上

別添資料 母子保健サービス強化のための医療機材整備計画 地図

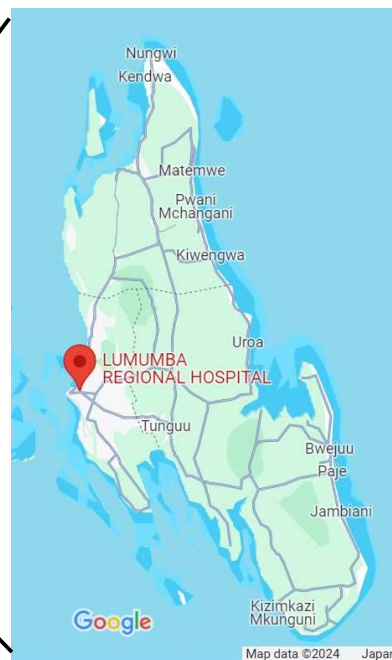
母子保健サービス強化のための医療機材整備計画 地図

事業対象地域：タンザニア本土6州（アルーシャ州、ドドマ州、キゴマ州、ルヴマ州、ムワンザ州、プワニ州）とザンジバルのウングジャ島

タンザニア本土6州



ザンジバル・ウングジャ島



出典：Ministry of Health (<https://hfrs.moh.go.tz/web/index.php?r=portal%2Fview-inmap>)及び Google Maps（地図データ©2024、Google）より JICA 作成、